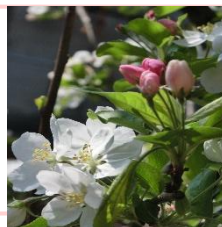


春は様々な花が街を彩ります。ウメ・サクラが咲いてツツジ、アジサイと続きます。その中でも私が好きな花はリンゴの花です。初めて見たときになんと気高く美しく気品があるのかと感動しました。香りも仄かです。ナシやミカン等果実は食べることがあってもつい花の存在を忘れてしまいます。果実の花にも注目してみてください！

紅葉台



新聞

第179号

2025年
4月26日

発行人：関谷 孝

地元探鳥会 八王子の8湧水地めぐり（後半）

子安神社（中野山王）～小宮公園～子安神社～六本杉公園

紅葉台新聞159号で「八王子8湧水池」のうち3つを紹介しました。今回は残りの5湧水池のうち（片倉城跡公園は後程取材）、後半を巡りましたので紹介します。

3月28日（金）朝からの小雨が上がり真夏のような暑さでした。参加者は7名。中野北小学校バス停で10時に集合し、すぐ近くの子安神社（中野山王）に行きま



した。この湧水は古くから「明神様の池」として親しまれ、生活に利用されてきました。崖の下から湧く湧水は、毎分1000リットル程。市内でも有数の湧水量を誇っています。かつては湧水がこの辺りの田んぼを潤し、撚糸業を営む家では水車をまわしていました。

神社内の川戸と呼ばれる水場は農家の方が野菜を洗うなど地域の人々に利用されています。この日は嬉しいことに春の花がたくさん咲いていました。タチツボスミレ、ヒメスミレ、ウグイスカグラ、シロバナタンポポ等珍しい花が境内あちこちに咲いていました。神社の桜の古木は年代を感じさせます。

ここから小宮公園を目指してひたすら歩きます。狭い路地を歩くと人家の庭には春爛漫の花盛り。お馴染みのメジロ、ヒヨドリ、スズメが見られました。途中の喜福寺は会長さんの家のお墓があると言っていました。その近くにカラスの巣があり巣作りに忙しそうでした。小宮公園は小高い丘にあるので坂を上ると富士山が見えるところがあります。この日は春霞で見えませんでした。また、近くには北島三郎の有名な御殿があります。高台に聳えるひととき大きな住宅が見えました。八王子の名誉市民なのも嬉しいですね。



小宮公園は加住丘陵南東部に位置する広大な雑木林を有する都立公園。窪んだ地形から湧出する「谷頭タイプ」の湧水です。この水路は下の弁天池に集まります。かつて

はカモがいましたが今は野鳥を見かけませんでした。大谷弁天池は天明年間の干ばつの際、八王子千人同心組頭の萩原氏が水田を作って農民を救ったと言われています。菜の花がたくさん咲く中で昼食にしました。下にはいオオイヌノフグリが絨毯のように咲いていてまるで小さなネモフィラの絨毯のようでした。ここは、「東京の名湧水57選」に選ばれています。湧水池を見学していると案内役の井上さんの野鳥友達に会いました。小川にヤマガラがやって来て水浴びをしていました。水浴びをしているのを見ることが



出来たのはラッキー。心温まりました。また、足元にはコジュケイが歩いていました。どこかでアオゲラが鳴いています。赤ガエルが産卵するのでその保護のため金網が小川に掛けられていました。井上さんはこの公園近くに住んでいるので毎日のフィールドワークにしているとのこと。羨ましい限りです。

さて、次は駅に近い子安神社目指して歩きます。浅川沿いにはイワツバメが飛び交っていました。キジが藪の中から「ケン」と甲高く鳴く声が聞こえました。姿が見えないのが残念！かつてカルガモ親子が子安神社から浅川に引っ越しをしてきた道をたどって歩きました。途中に大きな道路があるので宮司さんたちがコガモを守りながら誘導する様子がTV報道されたとのことでした。

いよいよ京王八王子駅近く、船森公園の隣にある子安神社。安産の神社、赤ちゃん相摸などで有名な神社です。この日もお宮参りの人が来ていました。ここの湧水は「大明神の池」と呼ばれ、常に豊富な水をたたえひとびとの憩いの場でした。八王子が誕生した大正6年ごろは田園風景が広がり、水車が回り、撚糸や精米に利用されていました。そのため織物工場や織染学校、繊維試験場があり、八王子織物の礎となりました。池には鯉がいて餌をあげる人がいました。ここで休憩をして、駅の反対側南口に向かいます。



いよいよ最後の六本杉公園です。子安丘陵からの湧水は「泉の森」と呼ばれ子どもたちの遊び場として親しまれてきました。それで真向いの立派で大きな学校を「いずみの森義務教育学校」というのです。かつては十数本の杉の大木が生えその根元から湧き出る水が一面に広がる田畑を潤していました。水温は16から18度。夏冷たく冬温かく感じる湧水でした。



最後に鳥合わせ。全部で21種。ベストはヤマガラ・コジュケイ・キジでした。行程15000歩強。よく歩き良く学びました！！会長さんも元気！！この日は暑くてヘロヘロになりました。

片倉城跡公園は今、カタクリが群生しています。それはまた今度紹介します。ここは花咲く公園で有名です。八王子市が絹織物で盛んになったのはこの豊富な湧水があったからと言われる所以が良くわかる湧水池めぐりでした。当時は田畑や人々の生活に豊かな恵みをもたらす湧水でもあったのです。今でも地域の人々が大切にしています。興味をもたれましたらお出かけください。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。